

秋満喫！森のキッズキャンプ



平成30年10月6日～7日

活動報告書

10月6日(土) 1日目

綺麗な青空のもと、「秋満喫！森のキッズキャンプ」を行いました。小学1～4年生の31名が参加し、秋の愛川ふれあいの村を楽しみました。受付を済ませ、2日間を一緒に過ごすお兄さんお姉さんのもとへ。自己紹介をしながら荷物を確認していると、続々と同じ班のおともだちが集まってきます。ほとんどの参加者が、初めて顔を合わせる相手なので、まだ少し緊張気味です。



栗の木広場へと移動をして、緊張をほぐすために体を動かします。じゃんけんをしたり、走ったりしていると、徐々に体も緊張もほぐれてきた様子。大きな声を出したり、楽しそうに笑う子たちも増えてきました。

体を動かした後は、持ってきたお弁当で昼食タイム。班のみなんでお話しをしながら、午後の活動に向けてお腹を膨らませます。



午後の活動はクラフト、写真立て作りです。写真立てに使う自然材を拾うため、村の中を班で歩き回ります。松ぼっくりやどんぐり、枝に赤い木の実など、様々な自然材が集まりました。村のどんぐりは何種類もあるため、細長いもの、丸いものなども見つかります。「ぼうし付きのどんぐりはないかな」などの声もありました。

集めた自然材を使って、写真立てをデコレーションしていきます。ホットボンドを使って、頭を悩ませながら飾り付けをしていく子どもたち。赤い木の実でカラフルに、枝をいっぱい使ってワイルドに。それぞれの個性あふれる写真立てができあがっていきましたが、実際に作り始めてみると、色々と欲しい自然材というものも出てきます。お友達の写真立てを見て、「あの木の実はどこにあったんだろう」という声もありました。というわけで、村の自然に詳しいスタッフに聞いてみましょう。



自分たちが欲しいものを伝え、スタッフが伝えた場所に班のみなんで拾いに行きます。1回目の自然材あつめでは回りきれなかった場所まで行き、クルミやヒメリンゴを拾ってきました。新たに増えた自然材を使って、さらに写真立てを飾りたてていきました。写真立てを完成させたら、班ごとに記念写真をぱしゃり。みんなの集合写真もぱしゃり。そのあとはベッドメイキングの方法を聞いて、ロッジに戻りました。

一度ロッジに戻ってベッドメイキングやお風呂の準備を整えたあと、みんな楽しみにしていた夕食を食べにかかせみ棟へ向かいます。歩き回ってお腹がすいていたのか、みんなもりもり食べていました。

ご飯を食べたあとは、キャンプファイヤー！炎を囲んで歌ったり踊ったり、みんなで楽しく過ごしました。気に入った歌や踊りは、終わってから口ずさむ子もいました。秋の夜は少し肌寒いですが、火を囲んで動いていると汗はかくもの。お風呂に入ったら、今日はおやすみなさい。明日に備えて、気力と体力を養いましょう。



10月7日(日) 2日目

朝起きたら、まず布団をたたみます。布団を綺麗に片付けたあと、食堂にいて朝ごはんです。キャンプは残り半日ですが、全力で楽しむためにエネルギーを蓄えました。みんなで使ったロッジの掃除をしたら、最後のプログラム、アウトドアクッキングのために野外炊事場へ！



食材を切る係、火をおこす係、そして生地をこねる係に分かれ、それぞれ班ごとに調理を開始します。火をおこす係は、太さや木の種類によって燃え方が異なる薪をどうやって燃やすか相談しながら、班のドラム缶に向かいました。食材を切る係は、トッピングはどのような形がいいかを聞きながらピーマンや玉ねぎを切ります。生地をこねる係は、両手をべたべたにしながらも、美味しい生地を目指して力いっぱいこねました。班のみんなの努力が集まり、たくさんのピザが完成していきます。トマトソースのスタンダードなピザにくわえて、サツマイモとリンゴを使った秋のデザートピザもあります。みんな、笑顔で美味しく食べてくれました。



ご飯を食べ終えたらみんなで片づけ。調理用具洗いや灰捨てなど、片づけも役割分担して進めていきます。「ピザ美味しかった」「お腹いっぱい」といった声を聞くこともできました。片づけが終わった班から、荷物を持って野外炊事場を後にしました。

最後は、作った写真立てに入れる写真を配り、お土産として持って帰ります。自然材のクラフトでは、独自の作品を作り、足りない部分は改めて自然材を集めました。野外炊事では、みんなの力を合わせて美味しいピザを作りました。このキャンプ中、参加者のみんなは色々な『工夫』と『協力』をしていました。写真はぜひ家に飾っていただいて、季節が変わっても愛川の秋の思い出を楽しんでいただければと思います。

またみなさんとお会いできる日を、職員一同楽しみにしております。

文責：大谷